

# JCD

## Kansai

2017.3.Vol.72



かに道楽 本店



3(71)

# JCD Kansai 2017.3 Vol.72

[表紙・水彩画]  
「道頓堀風景」  
名誉会員 大菅 満義



2017年（平成29年）3月号  
vol.72 平成29年3月発行  
発行／（一社）日本商環境デザイン協会  
関西支部  
〒559-0034  
大阪市住之江区南港北2-1-10  
ATCビル ITM棟10階A-1  
（一財）大阪デザインセンター内  
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会  
委員長／斎藤 俊二  
担当理事／東 潤一郎  
委員／岡島 昇（副委員長）  
栄 隆志  
白井 進  
安部 洋子（東リ）  
田中 佑佳（田島ルーフィング）  
谷藤 好恵（コイズミ照明）  
西田 豊彦（コイズミ照明）  
都田 香（エスケー化研）  
森島 晃（東リ）  
村田 みどり

制作／グラフィックアーツ ベルテ

（一社）日本商環境デザイン協会 関西支部  
JCD KANSAI 2017年3月 第72号

デザイン・質感・機能  
すべてにおいて  
ワンランク上のクオリティ

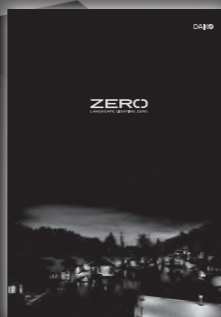
# ZERO

LANDSCAPE LIGHTING ZERO

#### SERIES LINE UP

- SPOT LIGHT
- LOW POLE
- MIDDLE POLE
- BRACKET
- FOOT LIGHT
- GROUND LIGHT
- INDIRECT LIGHT
- CEILING LIGHT
- DOWNLIGHT

2017.1  
Release  
屋外施設照明カタログ  
LANDSCAPE  
LIGHTING  
ZERO



大光電機株式会社  
本社/Tel.(06)6222-6240 Fax.(06)6222-6252  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7高麗橋ビル

**DAIKO**  
http://www.lighting-daiko.co.jp

- 04 ● 報告
- JCD関西支部活動報告**
- 2016年度 JCD関西支部活動基本方針
- 2016年度 関西支部総会 ————— 中村 裕輔

- 06 ● 特集
- JCDデザイン賞**
- JCDデザインアワード2016 審査経過報告 ————— 笠原英里子
- JCDデザインアワード2016 審査総評 ————— 長谷川 演
- 準大賞／金賞／銀賞 他

- 11 ● 報告
- 委員会報告**
- 2016年 日本の空間デザイン展 ————— 栄 隆志
- 関西デザイン学生シンポジウム&模型展2016 ————— 岡島 昇
- 親子de体験セミナー こどもたちと創る空間 ————— 益田 裕紀
- JCD関西支部 ビアパーティ2016（賛助会員PR会・交流会） ————— 斎藤 俊二
- JCD関西支部 トークイベント&クリスマスライブ2016 ————— 橋本 健二

- 16 ● 報告
- 委員会報告**
- 2016年度 賛助委員会 活動報告 ————— 衣川 正一・沖山 聡弘
- 2016年度 広報委員会 活動報告 ————— 斎藤 俊二

- 17 ● 連載
- Working Now**
- 新入会員紹介 ————— 竹重 匡
- 藤原 誠人
- 益田 裕紀
- 新入賛助会員紹介 ————— (株)ニッシンイクス

## 2016年度 JCD関西支部事業基本方針

### スローガン<集って楽しいJCD関西の復活!!>

#### 【研究委員会】

委員長:橋本健二 副委員長:益田裕紀 担当理事:東潤一郎

#### 活動内容:デザインによる社会貢献

- ・SODA事業 住まい情報センタータイアップ事業 子供セミナー開催
- ・SODA事業 出前授業実施に向けての検討
- ・関西デザイン学生シンポジウムの開催
- ・各種セミナー開催

#### 【広報委員会】

委員長:斎藤俊二 副委員長:岡島昇 担当理事:東潤一郎

#### 活動内容:JCD関西の外部発信と情報の共有化

- ・JCD Kansaiの発行
- ・メールマガジンの発行
- ・Facebookの更新

#### 【交流委員会】

委員長:浦田恭資 副委員長:高橋健太 担当理事:大東俊也

#### 活動内容:会員のコミュニケーションの活性化とコミュニティの拡大

- ・支部総会の開催
- ・ビアパーティー、Xマスパーティーの開催
- ・各種セミナー開催

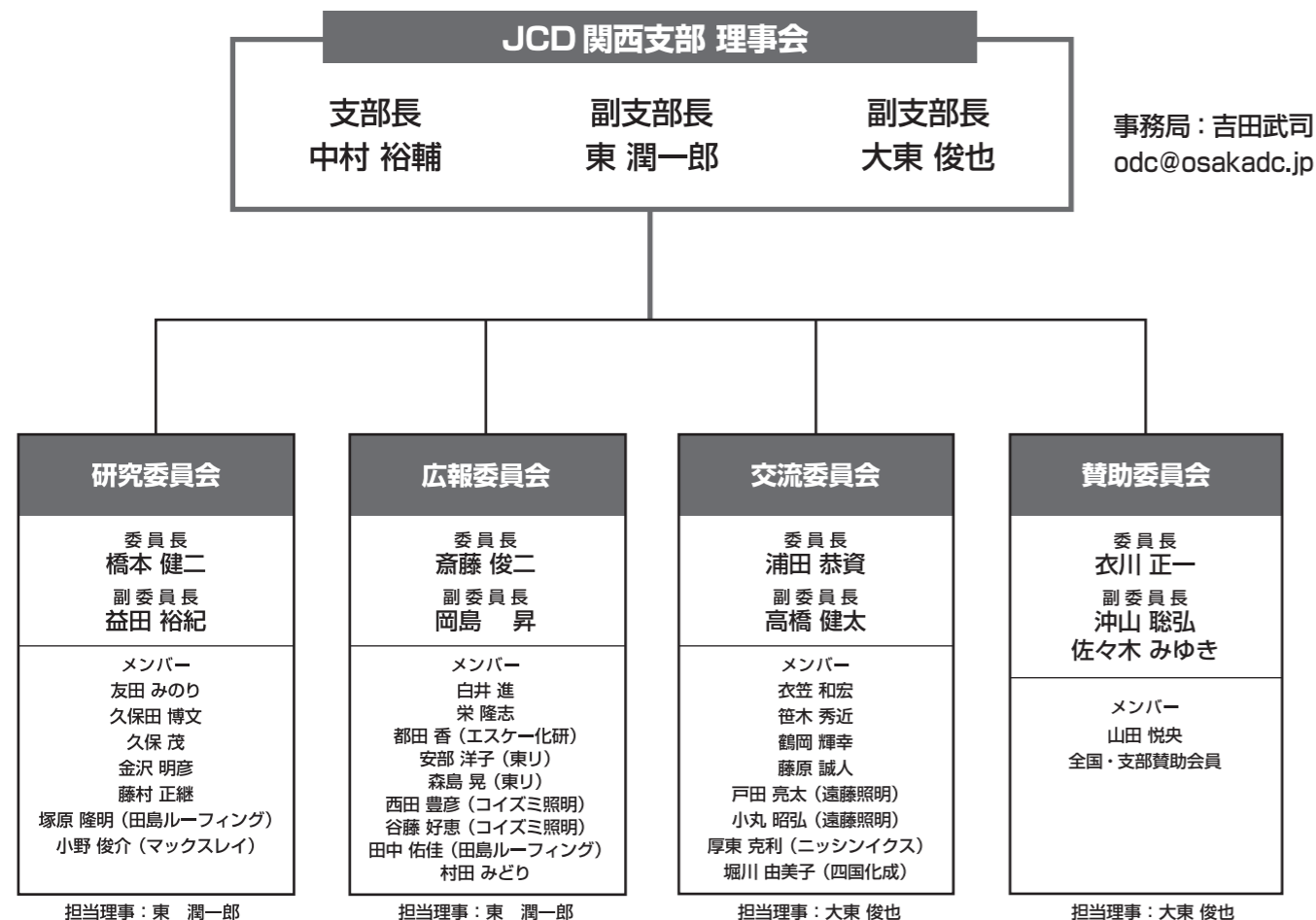
#### 【賛助委員会】

委員長:衣川正一 副委員長:沖山聡弘/佐々木みゆき 担当理事:大東俊也

#### 活動内容:賛助会員と正会員の協力関係の構築

- ・商品説明会、展示会の立案と参加
- ・各委員会との連携

## 2016年度 (一社)日本商環境デザイン協会・関西支部 組織表



## 2016年度 関西支部総会

関西支部長 中村 裕輔

### ■支部総会

去る6月20日(月)に北堀江の「カフェ コンタクト」で関西支部総会が開催されました。

今年度から新たな理事体制となり、今回はそのまず第一歩。私を含め新理事の東副支部長、大東副支部長の3名で新体制の内容と、その思いを発表しました。今年度からは「集って楽しいJCD関西の復活!」をスローガンに、まずは活動の強化と迅速、質的量的なアップを図る旨をお伝えしました。

また、委員会組織のスリム化を図り、一つの委員に複数のミッションを持って頂き、各委員会と連携しながら活動していく体制の実施。正会員・賛助会員の皆様いかにメリットを感じていただくかと、学生を含む次世代の取り込みを如何にして行うか。これらの取り組みをお伝えし、発表を締めくくりました。

このあと、各委員会の委員長・副委員長のご紹介と新しい正会員の益田氏、賛助会員のニッシンイクス様の紹介を行いました。

### <JCD関西 2016年度 支部総会>

日時:2016年6月20日(月)  
支部総会 17:00~18:00  
賛助会員PR会&懇親会 18:00~21:00  
場所 レストラン コンタクト  
参加者数:53名(正会員17名・賛助会員賛助会員35名・招待1名)

### ■賛助会員商品PR会・懇親会

賛助会員の出席18社の内、14社の会社に商品PRをしていただきました。各社様、熱の入った解りやすい発表をして頂き、短い時間の中充実した発表会になりました。今後は、もう少し深彫りした説明をして頂ける展示会を主体としたイベントの開催を画策しています。

懇親会は岡島氏の乾杯の御挨拶の後に開始。岡島氏からは新体制へのエールを頂き、和やかな雰囲気の中で始まった懇親会ですが、昨年12月のXマスパーティー以来の再会に皆様近況報告や情報交換を行い活力にあふれた会になりました。最後は監事である野村氏に総括して頂き、まさしく「集って楽しいJCD関西」の良いスタートが切れたと感じています。



新正会員の益田氏

新賛助会員のニッシンイクス様

## JCDデザインアワード2016 審査経過報告

JCDデザインアワード委員会 委員長 笠原 英里子

JCDデザインアワード2016は、昨年同様 1.ショップ空間 2.食空間 3.大規模空間 4.サービス・エンターテイメント空間 5.文化・公共コミュニケーション空間 6.公共生活空間の6部門別でインターネットによって作品を募集した。応募総数は史上最高となる528点にまで上った。海外からの応募点数は107点と増加を続け、77点応募の台湾を筆頭として香港、中国、韓国、アメリカと領域を拡大している。

一次審査では審査員27名のネット審査によってBEST100の作品108点を選出。二次審査は6月25日東京デザインセンターにて公開審査形式で行われた。審

査員は橋本夕紀夫を審査委員長として飯島直樹、小坂竜、近藤康夫、長谷川演、間宮吉彦、面出薫各氏の7名に依頼。まずBEST100から銀賞以上30作品を部門別に選出、その中から金賞以上10作品を選んだ。最終選出では金賞以上から再度検証と議論を繰り返し、最後は挙手によって満場一致となる大賞を選出した。

今年は日本の空間デザインアワード相互の再編も視野に入れつつ、JCDアワードの原点に立ち返り、今の時代のデザインを読み解き、未来に何を伝えていくのかという思想のもと取組を進めてきた。大賞の選出にあたってこの思想は十分に活かされたと考えている。

## JCDデザインアワード2016 審査総評

長谷川 演

商空間デザインの今を示し未来を担うアワードに今年もまた多くの作品が集まった。

毎年確実に変化する作品の傾向は、この瞬間の時代をリアルに可視化し、その場では体験として社会へ新しさを伝えるムーブメントとなる。

今を切り取るこの時間はJCDなりの、商空間に対するひとつの答えである。

その作品は国内からは400超、海外からは100超と、アジアパワーがここにも押し寄せ、レベルも過去のものではなくTOPランクを席卷する素晴らしさを持ち合わせてきている。

最終審査は恒例の公開で行われ、インテリアデザイン漬けのフロントランナー7名がそれぞれの覚悟の

元、静かに作品の前へと立った。

そこには大賞作品が該当無しとなった残念な昨年から、その結果に一抹の念を抱いていたのかもしれない。

このアワードに必要なものは？目指す先は？

審査が進むにつれその着地点が研ぎ澄まされ、ますます難を極める大賞審査へと進む。

時が止まるかのような最後の一瞬は7名全員の意見が一致、まさしく今の、そしてこれからを予感させる大賞が決まった。

商空間はどこへ行くのか。まだこの先があるのか。

確かな未来を感じつつ、更なる彼方へ。私達は、それを知りたい。

### ●選考点数一覧表

	応募総数			入賞点数
	国内	海外	計	
1 ショップ空間	94	8	102	6
2 食空間	79	27	106	4(3)
3 大規模商空間	20	9	29	4(1)
4 サービス・エンターテイメント空間	88	21	109	6(1)
5 文化・公共コミュニケーション空間	31	7	38	6(1)
6 公共生活空間	109	35	144	7(1)
合計	421	107	528	31(1)

※括弧内の数字は他の賞と同時受賞している作品

	大賞	金賞	銀賞	新人賞	審査員賞
1		2	4		
2		2	2	(1)	(2)
3		2	1		1(1)
4	1	2	3		(1)
5			4	(1)	(1)
6		1	6		(1)
	1	9	20	(2)	1(6)



今回大賞を受賞したBOOKS AND BED TOKYOであるが、これはホステルのスタイルで密室型のカプセルホテルとは違う。しかし何故か不思議な落ち着きがあり、知らない者同士が空間を共有してもあまり苦にならない空気が流れている。そしてここで重要な役割を果たしているのが「本」である。インターネットの普及で、本があまり読まれなくなったと言われるようになってからずいぶんと年月が経つが、それに伴い、これまでになかったような新しい本との関わりを持つ環境が増え続けている。もうすでに漫画喫茶は一つの業態として定着しているし、TUTAYAは本と飲食、生活雑貨や家電等を組み合わせて、多角的なアプローチで本との関わりを唱え、改めて本の価値を問おうとしている。そんな時代背景の中に登場したこのBOOKS AND BED TOKYOであるが、本と宿泊を組み合わせることによって本と宿泊そのどち

らに対しても有益な方向を見出そうとしている。本を読みながら、ついうとうとして、いつの間にか寝入ってしまうことは誰も経験があることだと思うが、このホステルはその行為そのものが一つの環境を形成する軸になっている。したがって、空間づくりにおいても華やかな装飾はなく、本棚とベッドとの巧みなゾーニングにより、本棚の中にもぐり込んでいくようなベッドルームを作り上げている。最近の一つの風潮として、本棚と本を店舗の雰囲気づくりのためのディスプレイとして使う事例が多々あるが、この環境は本が視覚的なものとしてだけでなく、実際に手に取って読む、あるいは眺めるという行為によって形成される空間である。そして、本があることによって起きるこの行為の誘発が、知らない者同士でも一つの空間をシェアできる環境を作り出しているように思える。(大賞評：橋本夕紀夫)



**金賞** TOMOKO KODERA CONCEPT SHOP  
(株)乃村工藝社/森田雅美・深野友規・藤原直矢



**金賞** メインダイニング エレテギアキッチン&ダイニング  
(株)NAP建築設計事務所/中村拓志



**金賞** 夜咄 Sahan  
(株)POINT/長岡勉・田中正洋



**金賞** 二子玉川 蔦屋家電  
(株)アイケイジー/池貝知子



**金賞** 東急プラザ銀座  
(株)日建設計/中本太郎・坂本隆之・畑野了  
(株)インフィクス/間宮吉彦・石丸耕平



**金賞** METEOR CINEMA  
One Plus Partnership Limited  
Ajax Law & Virginia Lung



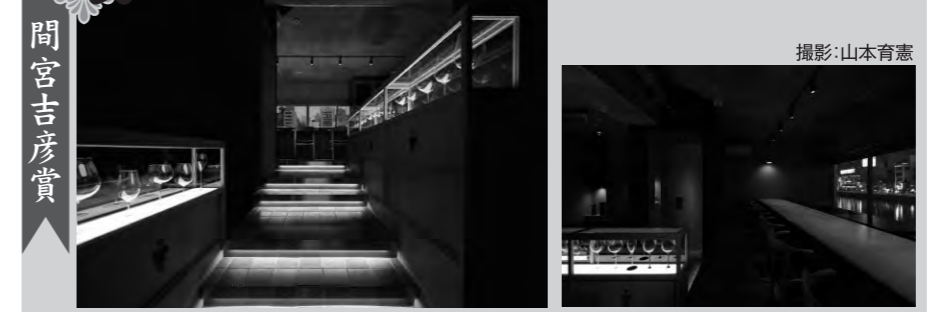
**金賞** まるほん旅館風呂小屋  
(株)久保都島建築設計事務所/久保秀朗・都島有美



**金賞** 東小松川デイサービス  
伊藤潤一建築都市設計事務所/伊藤潤一  
撮影黒住直臣



**銀賞** T60  
ムーブデザイン/坂本幹男



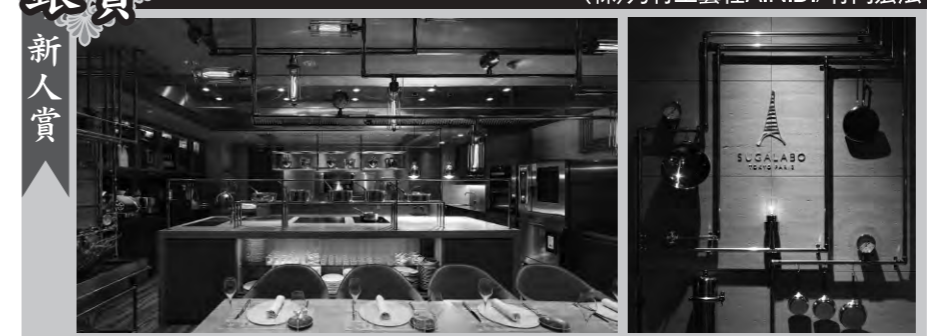
**銀賞** SOL de hair  
タカラスペースデザイン(株)/堀川壘



**銀賞** ふじのくに地球環境史ミュージアム  
(株)丹青社/石河孝浩



**銀賞** SUGA LABO  
(株)乃村工藝社A.N.D./竹内宏法



**銀賞** 日ノ出町アートブックライブラリー  
KSA/住谷素子



**銀賞** JR 新宿駅新南エリア  
sinato/大野力・金井亮



**銀賞** PICCO LINO  
飯山千里建築設計事務所/飯山千里



**銀賞** RATIO & C  
TANK/柴田祐希 POINT/長岡勉



**銀賞** 千里バンパク LOFT  
(有)トネリコ/米谷ひろし・君塚賢



**銀賞** BAO BAO ISSEY MIYAKE 銀座松屋



(株)モーメント/  
平綿久晃・渡部智宏

**銀賞** 西武池袋本店 別館・書籍館パブリックスペース



(株)成瀬・猪熊建築設計事務所/  
成瀬友梨・猪熊純・古市淑乃・  
本多美里・岡佑亮・長谷川駿  
撮影:長谷川健太

**銀賞** UNPLAN Kagurazaka



(株)アイダアトリエ/会田友朗

**銀賞** HOTEL CAPPUCCINO



UDS(株)/  
中原典人・小林綾子  
©Hotel Cappuccino

**銀賞** 梅郷礼拝堂



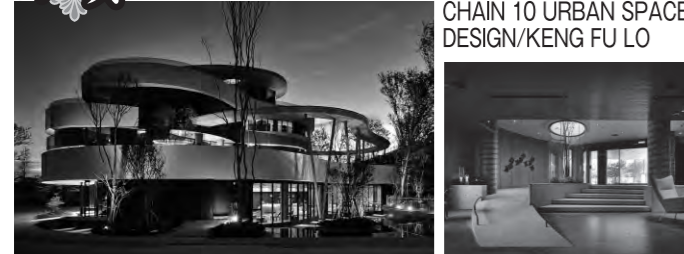
(株)加藤建築設計事務所/  
加藤詞史

**銀賞** 奈良市総合観光案内所整備事業



(株)スペース/尾西雄一郎・  
澤本三恵・村瀬真理子

**銀賞** Green Places Community Clubhouse



CHAIN 10 URBAN SPACE  
DESIGN/KENG FU LO

**銀賞** LAI Yard



Minggu Design Company/  
Panran

**銀賞** 伊勢町公衆トイレ



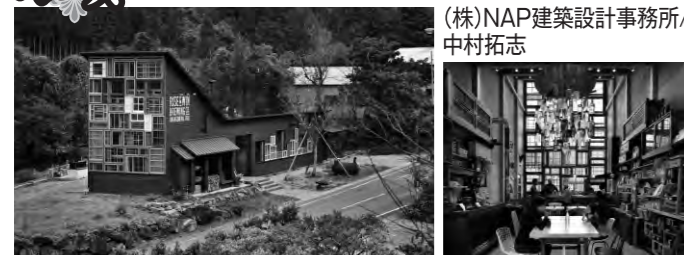
(株)久保都島建築設計事務所/久保秀朗・都島有美

**銀賞** JIKKA



SUMA/須磨一清

**銀賞** Kamikatz Public House  
(Kamikatz RISE & WIN Brewing Co. BBQ & General Store)



(株)NAP建築設計事務所/  
中村拓志

**銀賞** スタートトゥデイ東京オフィス



(株)NAP建築設計事務所/  
中村拓志

2016年 日本の空間デザイン展

広報委員会 栄 隆志

毎年恒例の「日本の空間デザイン展」2016年12月15日(木)～19日(月)までの5日間、グランフロント大阪A棟12階にあるコイズミ照明(株)のショールーム「KLOS」にて開催されました。

日本を代表する空間デザインに関わる4団体がそれぞれのジャンルごとに開催したコンペティションの入賞作品が展示されました。作品展示数は数多く充実しており、展示方法も各団体により工夫が凝らされ、非常に見ごたえのある展示になっていました。

作品には時代を反映した環境に重きを置いたもの、人とかかわりを追及したもの、ミニマリズムからの脱却を狙ったものまで、数多くのバリエーションに富んだ作品が展示されていました。

<2016年 日本の空間デザイン展>

日時: 2016年12月15日(木)～19日(月)  
11:00～18:00(最終日17:00)  
会場: グランフロント大阪A棟12階  
コイズミ照明(株)ショールーム「KLOS」  
来場者数: 70名

現在の日本の空間デザインの潮流を知り、若手クリエイターや学生、さらに社会に広く情報発信するに足る展示内容であると感じました。

会場は立派なきれいな場所ではあるのですが、開催期間が短く、一般の人が訪れるには少し解り難い場所であるため、展覧会の告知をいかにするかが今後の課題であると感じました。

大賞作品



会場風景



4団体懇親会風景

JCD/JIDA/JID/  
KIPA 4団体共催 関西デザイン学生シンポジウム&模型展2016

広報委員会 副委員長 岡島 昇

恒例となったデザイン4団体共催の「関西デザイン学生シンポジウム」が10月7日(金)にうめきた・グランフロント大阪にあるサンワカンパニー大阪ショールームで開催されました。今年のテーマは「Made in Japan “クールジャパンで世界に発信”=日本らしさ」。人やモノ、コト、未来、原点回帰等様々な視点を捉え、自由な発想で日本をテーマに“らしさ”を提案をしていただきました。

冒頭 JIDA の奥田氏から「日本の良さを皆さんに理解していただき、自由な提案をお願いしたい。また今日はプレゼンの勉強にもなる」とのあいさつをしていただきました。

「JIDA;大阪芸術大学チーム」は4人それぞれが和のプロダクトデザイン、「JID ACT;摂南大学チーム」は4人それぞれが和を取り入れた空間、「KIPA;神戸女子大学チーム」は8人が白いブラウスで勢ぞろい「オリンピック選手村」の和を取り入れたデザインを全員で提案、最後の「Team JCD;大阪モード学園チーム」は11名で被災地の復興のための空間を提案されました。それぞれの発表後にコメンテーターからプロとしての問題点を浮き彫りにさせた指摘とプレゼン内容の良いところに対するコメントを同時にいただきました。

最後にコメンテーターから頂いた総評は以下の通り。



<関西デザイン学生シンポジウム>

日時: 2016年10月7日(金)  
関西デザイン学生シンポジウム 17:30~19:50  
司会: 酒井コウジ(JID)、安藤真代(JID)  
コメンテーター: 東潤一郎(JCD)、奥田充一(JIDA)  
来海素存(JID)、小椋吉隆(KIPA)  
会場: サンワカンパニー大阪ショールーム  
参加者数: 約100名

奥田氏 (JIDA): 「みなさんに一言いいたいのは、いろいろな場面で参加することが一番大事だということ。今回心の中では失敗や言い足りなかった事もあったでしょう。それがいいんです。失敗も経験のうち、今後参加してください。」

小椋氏 (KIPA): 「おもしろく感じました。同時にもっとあばれてもいいのかなとも思う。もっと弾けて学生生活を謳歌してほしい。」

東氏 (JCD): 「Made in Japan」いろいろな方向に掘られるテーマ、普段は意識したことはないテーマであったが、皆で話し合うきっかけとなったら良いと思う。ひとつの提案という目標に向かってモノを創っていく作業は確実に皆さんを成長させてくれます。これからも目標に向かってひとつひとつ積み上げて欲しい。」

来海氏 (JID): 「ここに集まった人がひとつの絆として繋がって欲しい。今日は椅子展作家も来ています。交流の場を広げてください。2017年5月の神戸でのワールドインテリアウィークにも参加していただきたい。」

力作ぞろいで楽しめたシンポジウムになったが、今回のテーマは掘がりのあるテーマであり、そのテーマの捉え方と、デザインのリアリティもひとつのテーマになったのではと思いました。



模型展

<大阪市立住まい情報センター+JCD関西支部 タイアップ事業>  
親子de体験セミナー こどもたちと創る商店街

研究委員会 副委員長 益田 裕紀

今年で6回目となる住まい情報センターとのタイアップ事業で、商店街の模型作りのワークショップを開催しました。

まずJCD関西中村支部長の開会挨拶に始まり、天神橋筋商店会吉村会長から天神橋筋商店街の紹介、そしてJCD会員の野井さんよりデザイナーの仕事を紹介する、短いトークを開催しました。魅力的な空間デザインの事例に子供達は集中して聞き入っている様子でした。

前半はセミナー会場のある天神橋筋商店街の視察を行い、6グループに分かれ各2件ずつお店に伺い、商品を眺めながらお店の人と話をしました。見学ではお店がどのように構成されているのかを説明。例えば照明計画について配ダクとスポットライトの構成やダウンライトとの違いは普段あまり意識されていなかったようで、住宅での利用など保護者さんから鋭い質問がありました。既にこのイベントへの参加経験のある子供は、どんなお店を創りたいのか決めてきている様子で、パン屋さんはどうやって創ればよいかといった具体的な質問もありました。

見学の後は会場に戻り、お店のファサードの写真をピックアップしてお店当てクイズを開催。賑やかにイベントはスタートしました。

後半は子供達の自由な発想を生かして、商店街に並ぶような小さいお店を創りました。模型の大きさは40cm四方程度でスケールは1/7。まず何屋さんを創るのか決めて、マテリアルを選びながらデザインイメージを膨らませていただきました。また、最後に照明をセッティングする旨を伝え、素材によって空間の質感が変わる事を意識してもらうようにしました。

子供達は当日参加したJCDデザイナーからの指導で、やりたいお店によって素材を変える事を直感的に理解しているようでした。

短い作業時間でしたが、保護者さんの力添えも



<親子de体験セミナー こどもたちと創る商店街>

日時: 2016年12月17日(土) 10:30~16:30  
場所: 大阪市立住まい情報センター3階ホール  
参加者: 小学生29名 保護者24名 合計53名

あり、ほぼ全員の子供達の作品が完成。講評会では、自分のお店の自慢したいところやお店創りでやりたかったことを発表してもらいました。

セミナーの最後に商店街のように作品を並べ、アイレベルでのウォークスルー動画を撮影。上映会では自分たちの模型が本物のお店になったような様子に、子供のみならず保護者の方からも、参加した意義と達成感を感じるコメントをいただきました。

「近い将来、子供達が仕事を決めるときが来ると思いますが、その時に今日のセミナーを思い出し、デザインという仕事の事を思い出してくれば幸いです。」という支部長の言葉で会は締めくくられました。

賛助会員の皆様には子供セミナーの趣旨にご賛同いただき、マテリアル提供・運営にご協力有難うございました。

既に29年度の開催も決定しており、今後とも皆様のご協力をお願い致します。



JCD関西支部 ビアパーティ2016 (賛助会員PR会・交流会)

広報委員会 委員長 斎藤 俊二

去る8月29日(月)に、大川を臨む開放的なロケーションの「パークロ・バカージョ天満橋」でJCD関西支部恒例となる「2016夏のビアパーティ」をバーベキュースタイルで行いました。当日は、土砂降りにもかかわらず、関西デザイン学生も大勢参加して頂きました。

6月から新体制となった中村関西支部長のあいさつで始まり、衣川賛助委員長の乾杯のご発声によってビアパーティがスタート。豪雨と熱気の中、賛助会員による商品PRや11名の学生のアピールもあり、新体制後初となる恒例イベントでした。理事や各委員会メンバーが連携し、企画から実行まで非常に短期間で不安だらけでしたが、ふたを開ければなんと盛大に！中でも就活を終えた学生やこれから就活を迎える未来

<JCD関西支部 ビアパーティ2016>

日時: 8月29日(月) 19:00~21:00  
場所: パークロ・バカージョ天満橋  
参加者数: 62名 正会員+賛助会員47名、一般4名  
関西デザイン学生11名

のデザイン学生が、正会員や賛助会員との交流が出来たことがとても印象に残った大変有意義なビアパーティとなり、新スローガンの「集って楽しいJCD関西」が復活!!となりました。

パーティ後は学生達との交流の余韻が残り2次会へ。若さとパワーも加わり、とても楽しくまた、JCDをアピール出来たのではと思いました。



JCD関西支部 トークイベント&クリスマスライブ2016

研究委員会 委員長 橋本 健二

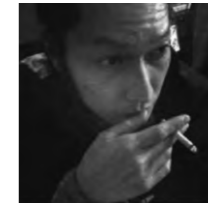
今年、維新派を主催していた松本雄吉さんが亡くなった。そして維新派は先日解散したのだが、いろいろな痕跡を残し、20年以上前に観た野外の舞台は僕に刺激を与えてくれた。僕の方向性ではないのですが、図面で表現できない構成美と面白さ、そこに集まる客と屋台の喧騒、それに関わる人たち、彼らがそこから何を構成していったのか? 今回はそこに注目し、ゲストに来ていただき、話を聞きだした。

僕は普段店舗の内装・住宅の設計を手掛けているがこの方々が製作に関わる空間に興味をおぼえた。よく思うことは、場というのは役者とその背景...つまり舞台美術の関係とその空気。建築・インテリアの場にも共通してるのかなど。

彼らの創作する場はなんとも言い難い場。僕が勉強・見てきた空間とは何か違う、図面で表現できない空間というか。そこに置かれる家具たちも何か独特な存在感がある。現在の若手デザイナーの洗練された空間も面白いですが、このある意味土着性、このあたりを来ていただ

<JCD関西支部 トークイベント&クリスマスライブ2016>

日時: 2016年12月6日(火) 18:30~賛助展示会  
19:30~トークイベント 20:40~ライブイベント  
場所: ライブハウス ガンツツイトイトイ  
参加者数: 総入場者131名  
正会員17名、一般39名、学生2名、招待2名  
賛助会員19社(出展社16+3社)合計71名



近藤 和見



井上 憲次



豊川 忠宏



橋本 健二

いた方々に感じてほしかった。

近藤和美さんの舞台は維新派の出身の要素も感じられるが、彼独自の背景作りを感じる。来年に完成予定の彼のバー空間にも興味を持つ。



トークイベント  
「舞台と空間の関係」



賛助会員発表



ビンゴ  
ゲーム



ライブイベント



ジャ〜ンケン...



## 2016年度 賛助委員会 活動報告

賛助委員会 委員長 衣川 正一 副委員長 沖山 聡弘

就任してまだ1年足らずですが「楽しく記憶に残る」をテーマに活動しております。

関西支部賛助委員会の年間活動ですが、奇数月に委員会を行っております。

1月委員会は新年会・7月委員会はバーベキューの予定で、遊びも忘れず活動します。

各賛助企業代表としての活動は、支部総会・ビアパーティ・クリスマスパーティでの商品PRを笑いと魂を込めて実施しています。

また、未来のデザイナーを目指す子供たちに向けたSODA事業に、材料の協賛をし、未来永劫商品を供給できるよう画策しております(笑)。

そして、賛助企業として大事な営業面についても、中村支部長を始めとした理事の方々の協力で「関西ネットワークメンバーリスト」を作成・更新し、JCD会員以外の方々と繋がりを持った営業活動を推進しています。



今後は海外展示会の視察ツアーや海外展示会出展情報なども発信し、グローバルに活動できればと思います。  
今後ともJCD関西支部賛助委員会の活動に御協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 2016年度 広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長 斎藤 俊二

2016年6月に、正会員だけでなく新たに賛助会員も加わり、新体制となった広報委員会がスタートしました。

活動内容として【JCD関西の外部発信と情報の共有化】を掲げ、実行として、まずしばらく未更新であったFacebookの更新からはじめ、各委員会の企画したイベントの取材と記録、賛助会員の新品や企画の発信そして、内外への情報発信やホームページへの掲載等を活性化し、JCD関西の魅力を最大限に広める活動をしていくことでした。委員の方々にとっては日々の仕事に大変忙しい状況下でしたが毎月の定例会にも参加

して頂きました。会合では、合同委員会の議題の共有化と様々な課題の検討や提案を行い、とても有意義な広報委員会になったと思います。まとめは本誌【JCD Kansai】の発刊を集大成として、支部スローガン『集って楽しいJCD関西』を配信し、会員アップに繋がる活動も展開して参りたいと考えております。



広報委員会定例会風景(2017.2.6 田島ルーフィング株式会社 会議室にて)



## 新入会員紹介

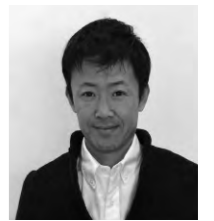
竹重 匡 Takeshige Tadashi | Design Fresco 株式会社

1964年佐賀県の有田焼窯元の生まれ。86年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。  
89年から96年までドイツのデザイン事務所勤務。  
00年から06年、香港の設計事務所欧州ブランドのアジア展開に従事。07年からDesign Fresco 代表取締役。  
日本国内で展開する海外のトップブランド店舗のディレクションとドイツ・日本ブランドの海外店舗のデザイン業務を中心に活動中。



**design Fresco**  
Design Fresco 株式会社  
大阪市中央区久太郎町1-4-8  
堺筋本町ガーデンスクエア 8F  
TEL. 06-6264-7526  
FAX. 06-6261-9186  
http://www.design-fresco.co.jp/

藤原 誠人 Fujiwara Masato | (有)キョーヒメ



(有)キョウヒメ  
代表取締役 藤原誠人  
〒670-0056  
兵庫県姫路市東今宿6-15-27  
TEL:079-292-4052  
E-mail:info@kyohime.com

益田 裕紀 Masuda Yuki | 株式会社乃村工藝社



**BINOMURA** 株式会社 乃村工藝社  
商環境事業本部 クリエイティブ局 デザイン4部  
〒559-0012大阪住之江区東加賀屋1-11-26  
TEL: 06-6686-3331  
http://www.nomurakougei.co.jp/

## 新入賛助会員紹介

株式会社ニッシンイクス

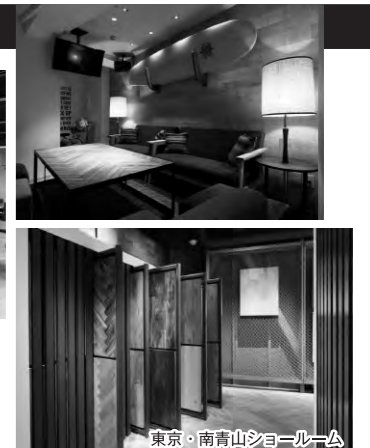
ニッシンイクスは、住宅・商業施設向けの建材を海外から自社で直接輸入し、お客様にお届けしています。良いものをよりやすく、本物にこだわりを持ち続け、快適な住環境づくりを通して社会に貢献していきたいと考えております。株式会社ニッシンイクスを宜しくお願いいたします。



東京・南青山ショールーム

NISSIN EX. 株式会社 ニッシンイクス HP: www.nissin-ex.co.jp

本社: 山口 / 東京 / 札幌 / 仙台 / 名古屋 / 大阪 / 福岡 / 東京・南青山ショールーム  
本 社 : 〒745-0814 山口県周南市鼓海 2-118-63 TEL.0834-36-1700 FAX.0834-36-1711  
大阪事務所 : 〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-8-7 三栄ムアビル 503 TEL.06-4708-4711 FAX.06-4708-4722



東京・南青山ショールーム

φ30



**ALTO "01"**  
アルト"オーワン"

もっと自由に、  
もっと大胆に。

'あかり'がある場所に人は集い  
そして出会いへとつながる

'あかり'は感情さえも揺さぶり  
空間の雰囲気をも変える力を持つ

'あかり'でもっと自由に遊び  
もっと大胆に楽しもう



**OUTDOOR SPOT**  
アウトドアスポット



**SORAA**  
SORAA



**Jusi PENDANT**  
Jusiペンダント



**LEDinestra**  
LEDリネストラ



**maxRAY**  
A Harmony of Light and Space

TOKYO 03-5456-0311  
OSAKA 06-6304-0505  
NAGOYA 052-252-9556  
FUKUOKA 092-431-7824

**USHIO**  
GROUP

マックスレイ株式会社は  
ウシオグループの一員です




蔵之助 イオンモール大和郡山店  
 施主：株式会社ジーンズ・カジュアルタン  
 設計・施工：株式会社スペース

# KOIZUMI


ミニマムという存在感。

## cledy micro

その小さなフォルムは  
さりげなく空間に同化し、  
優れたパフォーマンスは  
ハイクオリティな光環境を実現して、  
空間演出に  
大きな存在感を示します。




スーパーミニマムなスポットライト  
 ミニマムでハイパワー、ダイクロミックハロゲン  
 球JR12V50W相当の明るさを実現しました。  
 コンパクトな光源開発により、従来器具に比べて  
 電源ボックスの体積が約50%のサイズダウン。




cledy micro シリーズ


- スポットライト
- ダウンライト
- ユニバーサルダウンライト
- ダウンスポットライト




SPOT LIGHT



BASE DOWN LIGHT



UNIVERSAL DOWN LIGHT



DOWN SPOT LIGHT

コイズミ照明株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7  
 東京支社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-12 <http://www.koizumi-lt.co.jp/>



日産大阪販売株式会社 Zushi 高槻店  
 施主：日産大阪販売株式会社  
 設計・施工：大和ハウス工業株式会社  
 電気工事：佐藤電機株式会社



agate GINZA  
 施主・設計：株式会社エーアンドエス  
 施工：株式会社乃村工務社



Siam Discovery  
 施主：Siam Piwat Co.,Ltd  
 デザイン：nendo  
 Photo：Takumi Ota

“人と地球にやさしい  
 未来の光”の実現を目指します。

# Panasonic

欲しいのは、美しい光。

## TOLSO SERIES



私たちがこだわったのは、光の質と器具デザイン。  
多様な空間イメージに応えるために、中心光度や  
配光角では表せない美しい光のグラデーションと、  
空間にニュートラルになじむ造形を実現しました。

従来の照明

光のムラやスジが出やすい

TOLSO

滑らかな光のグラデーション

NEW

ご要望に合わせてきめ細やかな光色を実現  
「カラーオーダーメイドサービス」、スタート。



### Panasonic LED

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 マーケティング本部 照明商品営業部  
〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号 TEL.03-6218-1131(代表)